



# 2018 年度活動報告書

発行:2019年6月

公益財団法人大阪YWCA 東日本大震災被災者支援チーム

2011年3月11日、東日本大震災が起きました。あれから8年…。3月11日が近づくとテレビなどのマスコミでいろいろと取り上げられます。

その歳月を振り返ると、私自身2013年に大阪YWCAを通じて仙台での仕事の話をしていただき、移り住んだときのことを思い出します。たった7ヶ月と短い期間でしたが、ご本人も仙台で被災されたにも関わらず支援活動を行っている方たちと出会い、大阪には経験できないことをさせていただきました。

当時仮設に住んでいた方と様々なお話しをしたり、荒浜、閑上、大川小学校などたくさんの所へ連れて行っていただいたりしました。皆さん気丈で私のほうが逆に元気をいただくこともしばしばありました。

3月に実施した「大阪わいわいステイプログラム」で久々に福島へお迎えにいきました。保護者の方たちとお話をして、8年たった今でもまだまだ不安な思いをされていると聞きました。避難した人たちが地元に戻ってきている！という報道もあります。個人的には本当に大丈夫かなとも感じています。8年たっても様々なニーズはあると思います。まずは震災を風化させない、そのためにも今までやってきた活動は続けていきたいと思っています。私たちにできることはわずかかもしれませんが、少しでも被災された方々に寄り添える活動を続けていきたいと願っています。

2019年4月

大阪YWCA 東日本大震災被災者支援チーム

砂子 礼



公益財団法人 大阪YWCA

〒530-0026 大阪市北区神山町1-1-2

TEL (06) 6361-0838 FAX (06) 6361-2997

e-mail info@osaka.ywca.or.jp http://osaka.ywca.or.jp/

## ■大阪わいわいステイプログラム

日程：2019年3月27日（水）～4月1日（月） 5泊6日

参加者：7名 ボランティア：延べ43名

### ◇スケジュール◇

日にち	子どもたちの過ごし方	宿泊
3/27(水)	JR福島駅に集合 福島から大阪に移動	シャロン千里 こども館
3/28(木)	デイプログラム 万博記念公園へお出かけ	ホームステイ
3/29(金)	デイプログラム 春休みこどもミニスクールに参加	
3/30(土) ～3/31(日)	キャンプ 豊中市立青少年自然の家 わっぱる(大阪府能勢町)	キャンプ場
		ホームステイ
4/1(月)	大阪から福島に移動 JR福島駅で解散	—

### ◇3/27（水）福島から大阪へ

男の子4名、女の子3名の子どもたちをお見送りの保護者の方からお預かりして福島駅から東北新幹線、東海道新幹線と乗り継ぎ新大阪へ！さらに大阪メトロと阪急電車に乗って、吹田市北千里にある今日の宿舎“シャロン千里 こども館”へ。保護者の方と別れてからは少し緊張をしていた子どもたちも、新幹線に乗ると少しずつ打ち解けていき長旅を楽しんでいました。こども館では、おもちゃに夢中！笑顔いっぱい遊んでいました。夕食は、キッチンボランティアの手作りカツカレーにサラダ、味噌汁に三色ゼリーと、盛りだくさんメニューでした。キッチン担当の皆さんも一緒に楽しくおいしくいただきました。(S.A.)

### ◇3/28（木）万博記念公園

大阪滞在2日目。この日は万博記念公園へお花見に出かけました。お花見に必要なお弁当はみんなで作ります。一人ひとりが色々なサイズのおにぎりを握り、リーダーが準備したおかずをお弁当箱に詰めてシャロン千里を出発！福島からの長旅の疲れも見せず、広い公園内を存分に満喫しました。

出迎えてくれた太陽の塔の周りをぐるりと1周してみたり、木々の上を歩く「ソラード」を歓声上げながら歩いてみたり、高い櫓の上に登ってみたり。芝生の広場では“だるまさんが転んだ”を何度も繰り返し、鬼ごっこで走り回るなど、お目当ての桜には時期が少し早くお花見とはいきませんでした。春の息吹を感じながら思い切り外遊びを楽しみました。みんなで作ったお弁当も好評で、ペロリと完食しましたよ。



夕方にはホストファミリーのお母さんたちとご対面。少し緊張もありましたが、きちんと挨拶もできて、それぞれのお家に帰って行きました。(S.A.)

### ◇3/29（金）ミニスクール

ホストファミリー宅で初めて過ごす一夜が明けて、少し眠そうに梅田の大阪YWCA本館へやってきました。夕食やステイ先の猫の話をしていたら、あっという間にミニスクールの時間です。ボール

をキャッチしながら自己紹介。初めは知らない子が大勢いるからドキドキしたけど、緊張でボールをギュッと握ったら、ぶーっと鳴って大爆笑。そこからだんだん空気がほぐれてきました。

先生が「三匹の子豚」を英語で読んで、ナレーション、子豚、オオカミ、小道具に分かれて、それぞれの作業をします。「窓、曲がとる！」「ええねん」とわいわい言いながら背景を描いていたら、いつの間にか隣の子が友だちになっていました。

少し体調が悪くなって寝込んだメンバーがいたけれど、となりのお部屋で眠ったら体力が回復しました。プログラム後半で疲れが出たのかな？「三匹の子豚」をホストファミリーの前で公演したら、あとは楽しいおやつタイム。カルピスゼリーにフルーツを盛ったデザートは、ちょっと冷たくておいしい！と大満足でした。(O.M.)

### ◇3/30（土）～31（日）春キャンプに挑戦

大阪滞在最後には、大阪の子どもたち13名と一緒に春キャンプに参加しました。電車とバスを乗り継いで大阪能勢町の山の中にある豊中市立青少年自然の家「わっぱる」に行きました。

1日目はあいにくの雨でしたが、「わっぱる」館内でクイズラリーやフォトフレーム作り、ゲーム大会など、いろいろなプログラムを楽しみました。特に館内のあちこちに貼られたクイズを探して解いていくクイズラリーや夜のゲーム大会では、グループで協力して取り組み、大いに盛り上がりました。1日目でグループがぐんと仲良くなったように感じられました。

2日目はお天気も回復し、野外炊事をすることができました。ダッチオーブンを使って「鶏の丸焼き」を作りました。調理から後片付けまで高学年のメンバーが大活躍してくれました。丸ごと一匹の鶏を見るのも初めてです。焼きあがってダッチオーブンを開けたときのわくわくは忘れられません。新しい友だちと、いろいろな初めての体験。メンバー一人ひとりがたくさんの思い出を作ることができた2日間でした。(H.S.)



### ◇4/1（月）大阪から福島へ

いよいよ、わいわいステイプログラム最終日。参加者7名を引率者2名で福島まで送り届けます。今回は一番小さな年長さんも含めて、メンバーみんなが素直で仲良く、新幹線車内でも座席位置で揉めることも、周りのお客さんに注意されることもなく、とても助かりました。東京駅での東北新幹線への乗り継ぎもスムーズでしたし、郡山駅プラットホームで先に下りる子たちの保護者の方へのバトンタッチも問題なく運びました。

お友だち同士で参加した子、兄弟、姉弟で参加した子、独りで参加した子、みなそれぞれにご両親やご家族と遠く離れての1週間弱の滞在です。参加しているみんなと仲良く楽しく過ごしても、時には寂しかったのでしょう。お迎えに来られた保護者の姿を見つけた時には、みんなにパッと笑顔が広がりました。今回も、参加者がみな元気に旅を終えたことに感謝です。(T.M.)

### ■チャリティー・イベント「Stand by you vol.6」2019年3月3日（日）18：30～

於：雲州堂 参加人数：23名

出演アーティスト：桑本悟道竹田、アキラ、ロボ&ピース acoustic、けんきち

寄付額：18,000円

東日本大震災の翌年からほぼ毎年行っているチャリティーコンサート stand by you も第6回目です。雲州堂という蔵を改装したイベントスペースの横にはIOR?I（イオリ）という居酒屋が併設さ

れ、食事を楽しみながら音楽を聴くという贅沢な一時。今回もシンセサイザー奏者で作曲家のけんきちさんの協力のもと、4組のアーティストの演奏と大阪YWCAの活動報告で構成したライブでした。

まずYの紹介をして、コンサートの募金がどう使われているか説明をしました。お客様の大半はアーティストのファンでYを知らない方がほとんどですから、活動内容だけではなくYについても知っていただく良い機会にもなりました。すっかり報道が減った東北への思いと、原発事故の悲劇を風化させない意味でも福島の子どもたちを中心としたプログラム紹介が出来た事は有意義でした。

活動に賛同したアーティストがCDの売り上げの半分を寄付してくださるといご配慮もあり、多く寄付が集まりました。stand by you=そばにいるよ。そのタイトル通り、これからも東北の方々に寄り添った支援が出来ればと思います。(Y.N.)

## ■街頭募金 2019/3/9(土) 14:00~

於：JR天満駅 南側路上 参加：4名

毎年3.11前後の土曜日に、大阪わいわいステイプログラムの財源の一部を僅かでも得ることと、道行く人々への「2011年のあの日を覚えていきましょうね。」というアピールを兼ねて、街頭募金を実施しています。

今年は3月9日(土)にJR天満駅前で行いました。例年大阪駅前の阪神百貨店前あたりに立つところ、大きな駅前よりも商店街の方が人通りが多く効果的ではないかと思込んでの変更でしたが、大失敗でした。商店街の中ではなく、天神橋筋商店街が見える天満駅前で、ほとんど人通りがなかったので、40分程で撤収。残念な結果に終わり、見込みと確認の甘さに反省する事の多い街頭募金になってしまいました。(T.M.)

## 2018年度大阪YWCA東日本大震災被災者支援活動にご寄付下さった皆様

白井邦子、坂田明子、吉田信子、日本基督教団甲東教会エリコの会、日本基督教団大阪城北教会、大阪城北教会CS、藤が丘幼稚園、日本基督教団核問題連絡会、大阪YWCA大宮保育園、大阪YWCA千里委員会、千里クリスマス会参加者一同、大阪YWCAクリスマスバザー実行委員会、被災者支援チーム一同

**\*この他、大阪YWCA設置の募金箱にも多数の募金を頂戴しました。ご協力ありがとうございました\***

### ◇2018年度大阪YWCA東日本大震災被災者支援 収支決算◇

収 入		支 出	
補助金	150,000	旅費交通費 参加者・引率移動費等	293,140
寄付金	279,900	プログラム費 キャンプ参加費、食材等	154,704
プログラム収入	70,000	通信運搬費	4,024
前期からの繰り越し	288,276	消耗品費	6,792
		保険料	5,136
		事務局諸経費等	324,380
		次期繰り越し	0
計	788,176	計	788,176

※補助金：日本YWCA被災者支援事業